令和8年度
学校要覧

立川市立第七小学校

校長　丹野　優子

校章の由来
二枚の「きくの葉」に七小の字が入り、空いたところは郷土立川をあらわしている。雪や嵐に耐えながら、自分の力でそして、力を合わせて、やがて美しい花を咲かせる「きく」のような子どもになってほしい。

チーム七小の取組

教科担任制の推進

専門性を活かした質の高い授業の実現とともに、多くの教員の関わりによる多角的な視点での児童理解や生活指導を進めていきます。

地域力の活用

学校運営協議会や地域学校コーディネーターとの連携・協働による教育力の向上を図り、地域に根差した「立川市民科」の取組を行っていきます。

校内研究

どの子も意欲的に取り組む授業づくり～授業のユニバーサルデザイン化を通して～という研究主題のもと、授業だけではなく、「分からない」と素直に言えるお互いの違いを認め合える温かい雰囲気づくり（人的環境のUD）も進めていきます。

心理的安全性の確保

誰一人取り残さず、互いの良さを認め合い、安心して過ごせる学校の実現に努めます。大人も子どもも、一人一人の居場所があり、やるべきこと、やりたいことに挑戦できる場をつくり、個々の自己実現を図っていきます。

今日の学びに喜びを感じ、明日の学びに希望を抱く第七小学校

ニコニコ　ワクワク

【学校教育目標】＝目指す児童像

○元気な子
（元気いっぱいに身体を動かし、体と心を鍛え、たくましく生活できる子）

◎考える子　◎令和8年度　重点目標
（興味関心を大切に、自ら課題を見付け、学ぶ方法を知り、自分の力で学べる子）

○ねばり強い子
（失敗してもくじけることなく、最後までやり切ることのできる子）

○思いやりのある子
（互いの良さを認め合い、自分を大切に、周りの人も大切にできる子）

目指す学校像
～大人も子どもも　学び合うことが楽しい学校～

①誰一人として取り残さずに、『できた、わかった、うれしい、楽しい』を実現するために教職員、地域が一体となって取り組む学校
②互いのよさを認め合い、誰もが安心・安全に通える優しさと笑顔にあふれる学校
③教職員、保護者、地域が互いに信頼し、協働共助の精神を大切にする学校

校歌

作詞　原田　重久
作曲　芥川也寸志

一
丘にひろばに　日はもえて
はてなくひろい　そらの下
ひかりをあびて　手をあげて
ふたばはのびる　げんきよく
たちかわ　立川第七小学校

二
きよく明るく　うつくしい
ほこりをこめた　しらぎくの
たかい香りを　みにつけて
われらはそだつ　すこやかに
たちかわ　立川第七小学校

三
にわになごみの　わをつくり
まどにきぼうの　花ひらく
みどりゆたかな　まなびやの
ともよことりよ　わかぐさよ
たちかわ　立川第七小学校

（昭和三十八年二月十七日制定）